

2006年 3 月期 オルガノ株式会社 決算説明会

(2006年05月17日 16 : 00 ~ 17 : 30)

出席者

代表取締役社長

橋本 喜代志

取締役兼常務執行役員

田中 康彦

1. 経営ビジョン
2. 2006年3月期 決算概況
3. 2004年度～2006年度
中期経営計画 進捗報告
4. 2006年3月期 決算報告 及び
2007年3月期 業績予想

1. 経営ビジョン

企業コンセプト

“*Ecologically Clean*”

企業理念

企業の存在目的

かけがいのない地球の未来を見つめ
“心”と“技”で水の価値を創造する

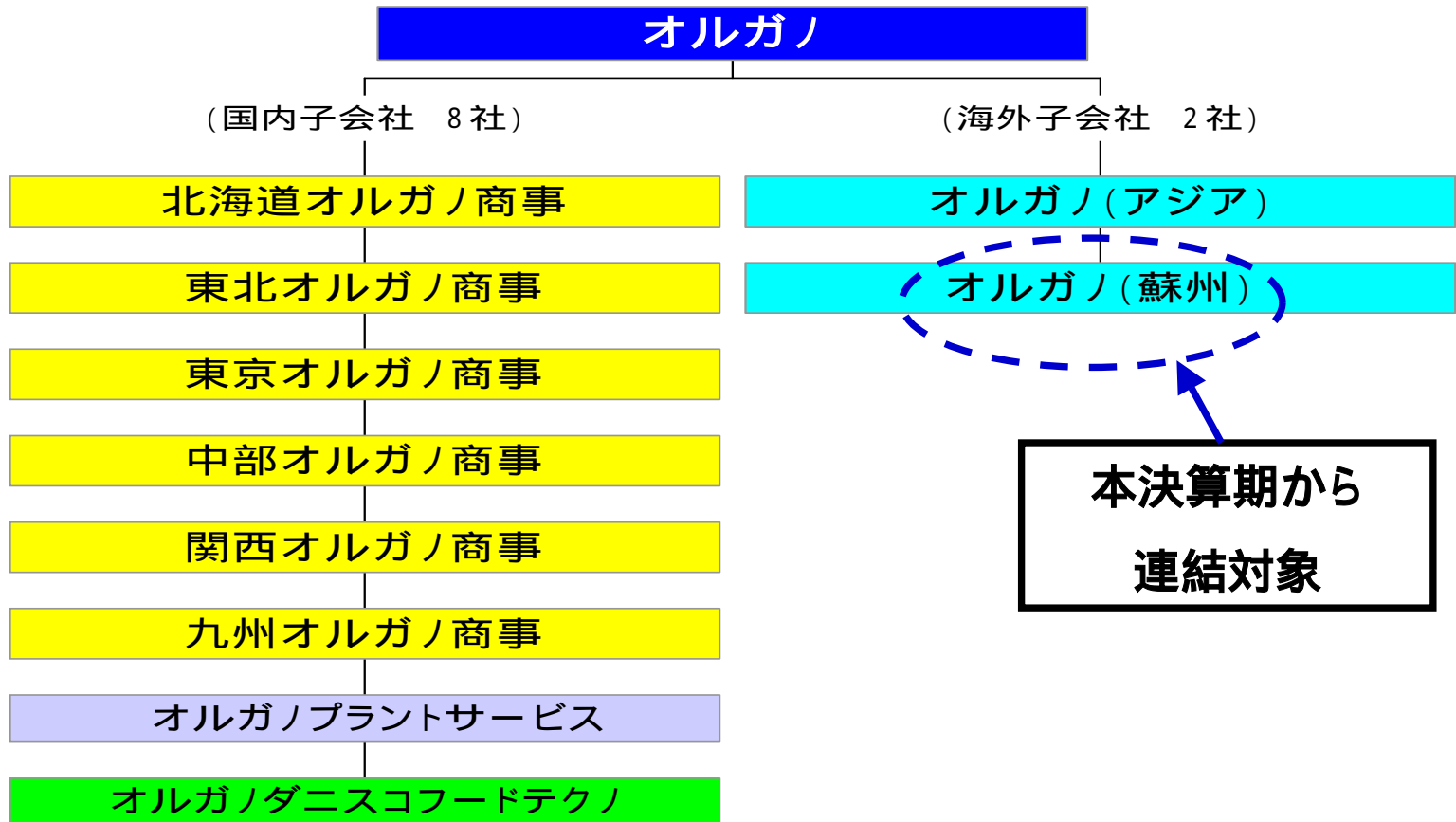
経営理念

経営の姿勢

- 地球を大切にする経営
- お客様を大切にする経営
- 人を大切にする経営
- 技術を大切にする経営
- 株主を大切にする経営

2 . 2006年3月期 決算概況

オルガノグループ(連結対象会社) (全10社)



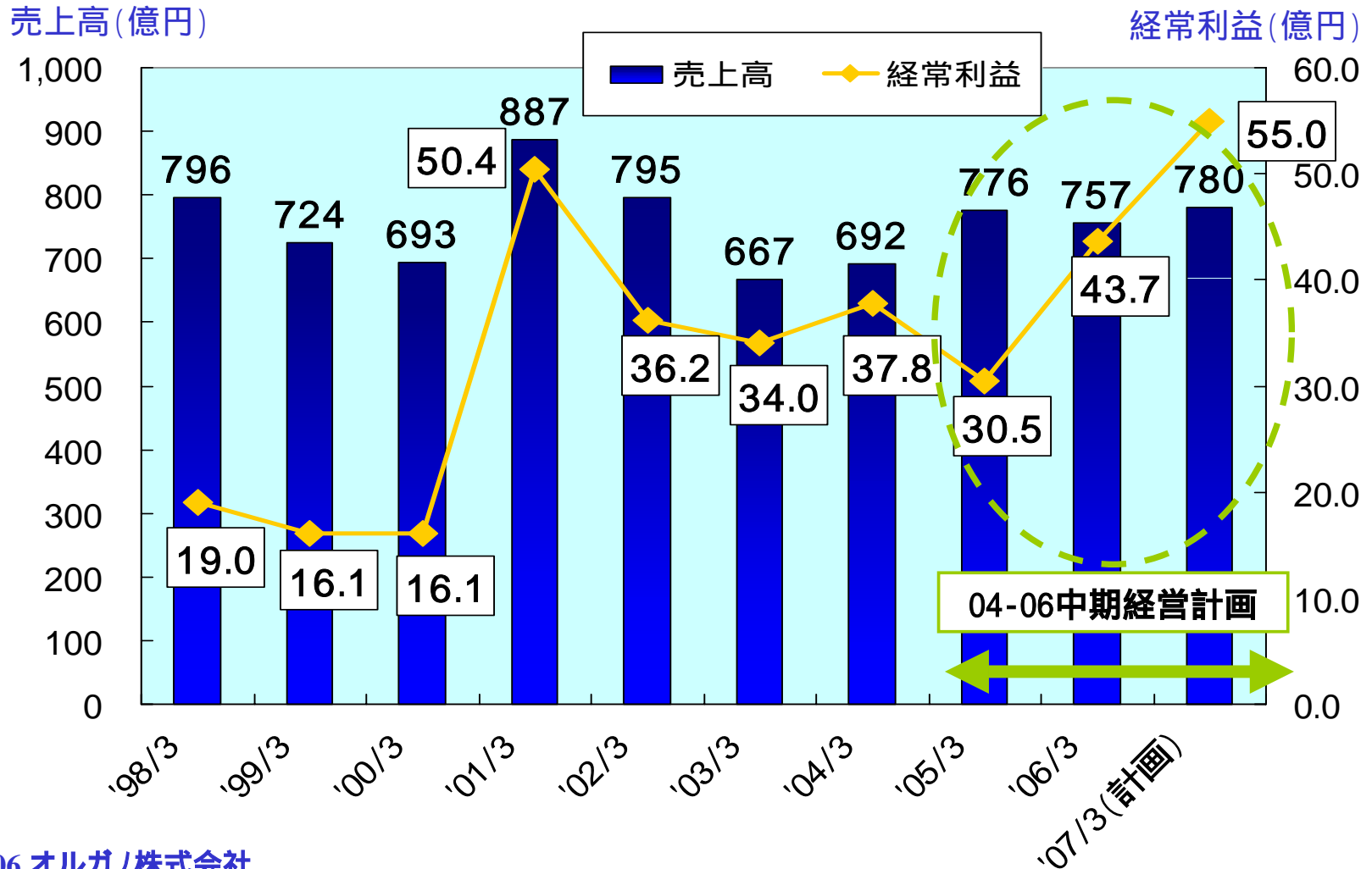
< 連結決算 > () : 対前期比

売上高	: 757 億円 (- 2.5%)
経常利益	: 43.7 億円 (+ 43.4%)
経常利益率	: 5.8 % (+ 1.9ポイント)
当期純利益	: 20.9 億円 (+ 15.9%)

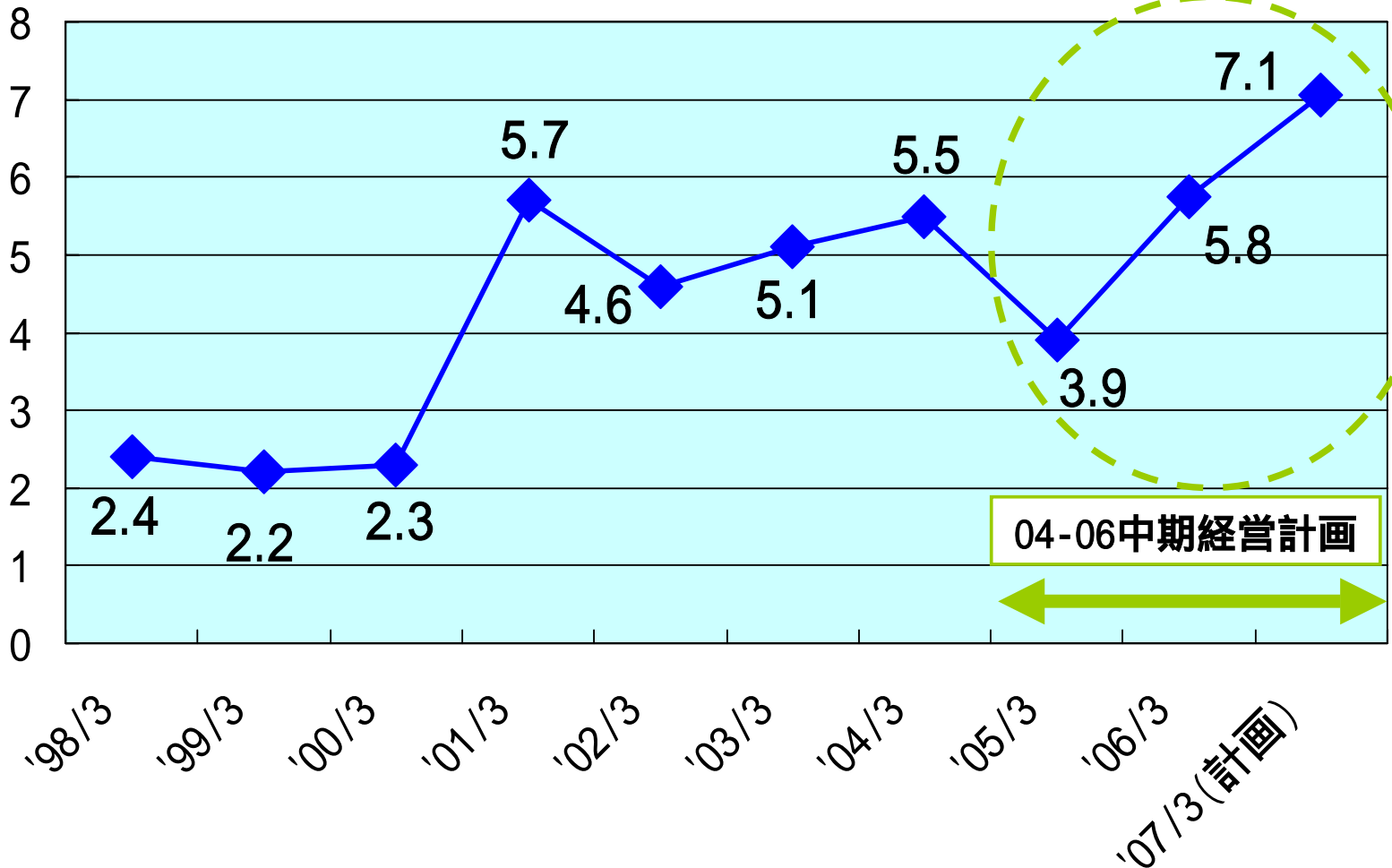
< 単体決算 >

売上高	: 608 億円 (- 7.4%)
経常利益	: 30.9 億円 (+ 70.4%)
経常利益率	: 5.1 % (+ 2.3ポイント)
当期純利益	: 14.7 億円 (+ 28.8%)

売上高、経常利益の推移 (連結ベース)

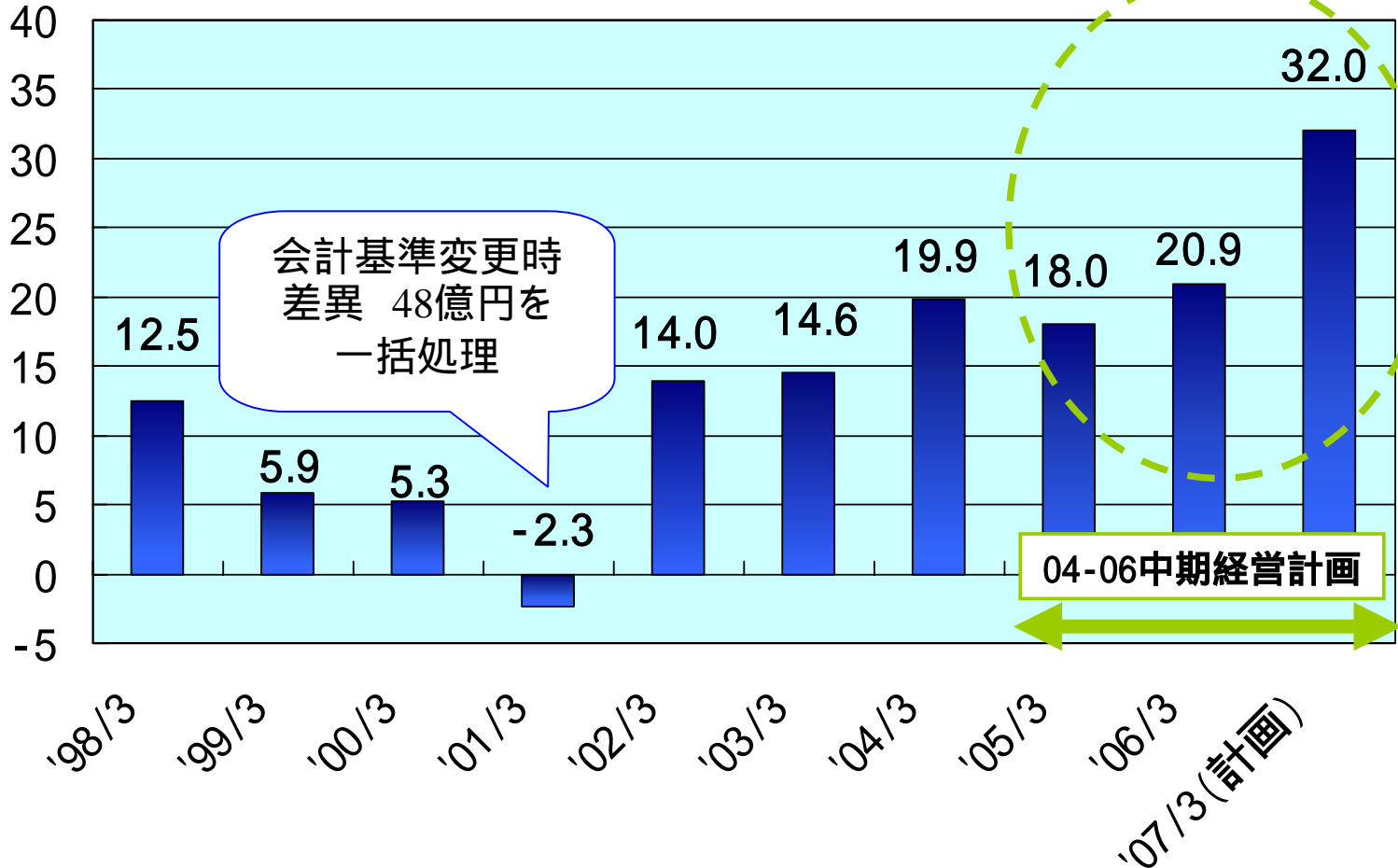


経常利益率 (%) 経常利益率の推移 (連結ベース)

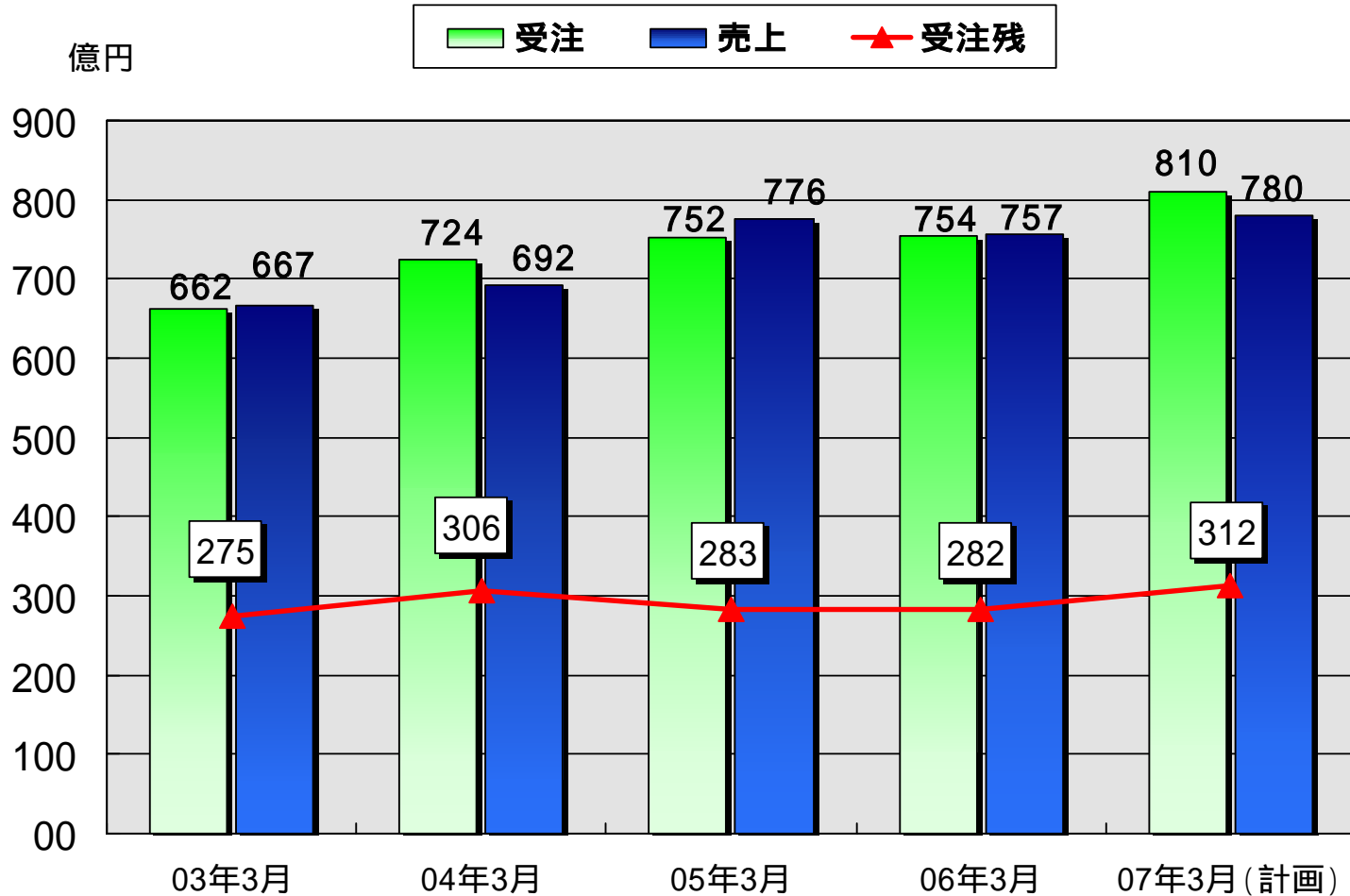


当期純利益
(億円)

当期純利益の推移 (連結ベース)



受注・売上・受注残高(連結ベース)



3 . 2004年度 ~ 2006年度 中期経営計画進捗状況

2004年度～2006年度 中期経営計画のコンセプト

メーカーへの回帰

(メーカー機能を有するエンジニアリング企業グループ)

モノづくりにこだわるエンジニアリング企業グループ

VOCに対応する高品質商品・サービスの提供

中期経営計画経営目標

< 全関連会社連結2006年度目標 >

(非連結会社を含む)

売上高	: 870 億円	(702 億円)
経常利益	: 65 億円	(38 億円)
経常利益率	: 7.5 %	(5.4 %)

() : 2003年度 実績

< 6 重点戦略 >

1) 機能商品事業の拡大

販売ネットワーク強化、高付加価値商品の提供による売上拡大

2) ソリューション事業の拡大

グループサービスネットワークの強化による収益基盤の強化

3) 中国事業の拡大

世界に通用する品質・価格競争力の構築

4) コストダウン

徹底したコストダウンによるプラント事業の強化

5) 独自技術/商品の開発

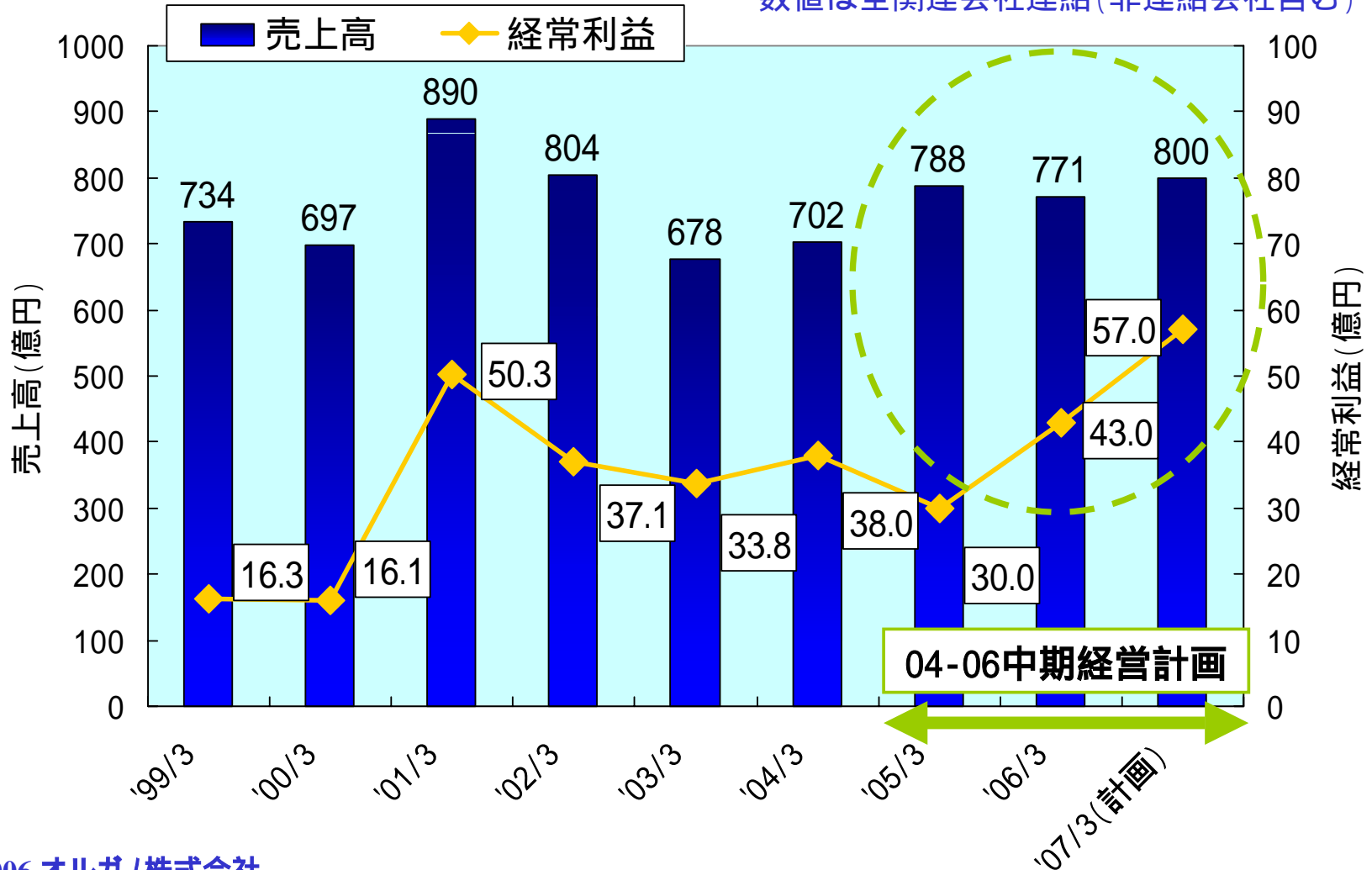
タイムリーな技術・商品・サービスの提供による独自市場の開拓

6) マネジメント革新

挑戦的、自律型企业風土の構築

売上高と経常利益の推移

数値は全関連会社連結(非連結会社含む)



中期経営計画06年度目標と06年度予算

	中期経営計画	06年度予算	差異
売上高	870 億円	800 億円	<u>70億円</u>
経常利益	65 億円	57 億円	8億円
経常利益率	7.5 %	7.1 %	<u>0.4ポイント</u>

売上高は中期計画値比8%未達の予算

要 因	差異(億円)
官公需・電力市場縮小	120
民間設備投資の活発化	55
海外・国内関連会社の成長	10
機能商品事業の停滞	15
差異合計	70

経常利益率は中期計画値をほぼ達成の予算

【要 因】

コストダウン戦略等による収益率の向上

【内 容】

- ・重点戦略「コストダウン」の効果
(3次元CAD/コストダウンユニット等)
- ・調達単価削減策による資材購入コストの維持
- ・工番実行予算精度の向上
- ・不適合工事の管理徹底、発生防止

【05年度実績と06年度目標】

05年度 8億円の利益創出達成

06年度 目標12億円

中期計画経営計画重点戦略の主な実績

実績	06年度計画
【コストダウン】 ・CDチーム発足 ・3次元CADの活用 ・低コスト中型純水ユニットの完成	・低コスト標準ユニットの拡充 ・いわき工場機能強化 （エンジニアリング機能の集約）
【中国事業の拡大】 ・蘇州現法への機能集約 （03年度2.5億円 06年度20億円へ） ・台湾現法の設立	・マレーシア、蘇州、台湾の3拠点連携 （営業/設計/製造の相互連携）
【マネジメント革新】 ・事務管理業務合理化プロジェクト の発足（外注費削減）	・グループ内機能の集約分社化 （オルガノアクティへ） ・グループ管理会計の再構築

4. 2006年3月期 決算報告 及び2007年3月期業績予想

(補足資料をご参照ください)